

市長との対話集会開催記録

団体名	北名古屋市商工会青年部OB	実施日	令和7年10月8日（水）
実施場所	商工会館	参加人数	17名

【主な内容】

- ・北名古屋市の市政運営のビジョンや今後の方向性について
- ・ナゴヤ球場の移設について



【対話内容（抜粋）】



参加者

北名古屋市は「健康快適都市～誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまち」を掲げ、市民の皆さまが主体となった地域づくりに取り組むとあります。

また、事業の見直しやデジタル技術を活用した市民サービスの向上などを行い、強い財政基盤の構築に向けた改革を行うとありますが、市政運営のビジョンや今後の方向性について教えてください。

北名古屋市は、名古屋へのアクセスも良く、市内に名鉄犬山線の駅が2つあります。こうした立地の良さから、人口も増加し、成長してきました。しかし、令和2年度決算時に経常収支比率（家計でたとえると、食費や光熱水費などの固定的な支出が占める割合）が98.3%、令和3年度当初予算での財政調整基金（家計でたとえると、貯金）が3.7億円と、厳しい財政状況となりました。

私は、こうした中で、持続可能なまちづくりのため、行財政改革に取り組んでいます。例えば、ジャンボプールの料金改定（値上げ）、歴史民俗資料館の有料化を実施し、今後の公共施設のあり方の方針となる計画（公共施設の適正配置計画）も現在策定中でございます。

これまで当たり前とされてきた従来の方法等を見直し、強固な財政基盤を作り、より良い事業やサービスを市民の皆さまに提供できるように取り組んでいきます。私はそのような意識改革が必要だと考えます。今後、少子高齢化が進むことが見込まれますが、より住み続けたいと思ってもらえる魅力あるまちを目指し、市行政の運営に努めてまいります。



市長